

「令和2年度

大山町地方創生事業」

外部検証委員会検証結果を

お知らせします

大山町は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、令和2年3月に5カ年計画の「第2期（令和2年度から令和6年度）大山町ひと・くらし・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略）を策定し、その計画に沿った事業を、地方創生交付金を活用して行っています。

総合戦略外部検証委員会では、実施事業について年度ごとにその効果を数値目標に限らず、幅広い視点から検証を行うこととしており、今年度は、コロナの影響で、書面により実施しました。

令和2年度に実施した地方創生事業について、次のとおり委員の方からご意見をいただいたので報告します。

この検証結果を踏まえ、「第2期総合戦略」に基づいて引き続き事業を展開します。

大山町の将来を見据えた地方創生に関する事業提案がありましたら企画課までお願いします。

企画課

☎0859・54・5202

【全般的な意見】

- ◆各事業ロードマップを示してあるとより評価がしやすい
- ◆大山町の暮らし全体が、実は大きな魅力ある観光資源である
- ◆サイクルロードの取り組みを町民全体に周知し、協力が得られる努力をしていくことが必要
- ◆人と人との触れ合いこそ観光の基
- ◆地方創生事業では、第1、第2次産業も含め、事業の種類は多様性が必要
- ◆大きな予算を使って、大きく町を動かすような事業に取り組んでほしい
- ◆計画にはコロナにより社会の対応が迫られている分野も多く含まれ、よく練られているという印象
- ◆当面は計画に沿って地道に事業に取り組んでいくことが大切

大山町ひと・くらし・しごと創生総合戦略外部検証委員会

団体名	氏名(敬称略)
大山町商工会長	山根 均
大山町企業連絡会議	片木 威
西部総合事務所コンシェルジュ	前田 喜功
鳥取大学 地域学部 教授	多田 憲一郎
鳥取銀行名和支店長	山家 年史
山陰合同銀行名和支店長	赤井 浩二
大山町職員労働組合	中井 晶義
新日本海新聞社 編集局長	杉村 周二
アマゾンラテルナ 鳥取大山オフィスゼネラルマネージャー	貝本 正紀
大山地区三色会 会長	荒金 恵美子
女性団体連絡会副会長・大山女性の会会長	桑原 可菜子

※検証結果はP4、5です。



▲空き施設を活用したコワーキングスペース (TORICO)



▲地域コミュニティケア先進地視察 (雲南市)



▲SDGs研修会の様子